

NO. 450
平成14年(2002)
1/1(火)



小笠原 —OGASAWARA—

村民だより

編集・発行 小笠原村総務課

〒100-2101

東京都小笠原村父島字西町

TEL04998(2)3111

FAX04998(2)3222

住民基本台帳登録者数 (12/1)	2411人	
	父島	母島
人口	1961人	450人
世帯	1099	211
短期滞在者	31人	31人

11月気象状況(父島)

最高気温	27.8℃
最低気温	16.6℃
平均気温	23.0℃
平均湿度	80%
月降水量	106mm

ダム貯水量	12/26現在
父島	100/100
母島	91/100

ホームページアドレス

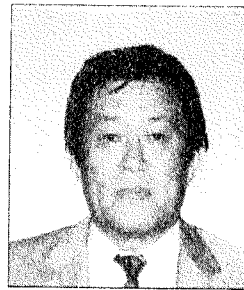
<http://www.vill.ogasawara.tokyo.jp>

小笠原の花・木・鳥・魚

花	ムニンヒメツバキ	鳥	ハハジマメグロ
木	タコノキ	魚	アオムロ

新年のご挨拶

小笠原村長 宮澤 昭一



新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり、皆様方のご健勝とご多幸を祈念するとともに年始のご挨拶を申し上げます。顧みますと、昨年は多くの課題に直面した年でした。

最大の課題であります航空路の開設については、昨年11月に東京都が「現計画の撤回・新たな航空路案の検討」を発表し、小笠原諸島返還からの悲願である航空路の開設は、振り出しに戻ってしまいました。

この東京都の決定には、これまでの経緯、村民の皆様とともに行ってきた活動を考えると、無念という言葉では抑えきれない悲しみを覚えます。

当面は、平成16年度就航予定の超高速船テクノスパーライナー(TSL)により海路の改善は行われます。しかし、毎日の足となるりうる空路は、TSLによって代替されるものではありません。

村民の生命と財産を守り、村民の生活の安定を図る立場から、空路は必要であるとの大前提のもとに引き続き航空路開設実現に向け努力を続ける覚悟でございます。

これまでの大きな課題であった救急患者夜間搬送施設、硫黄島宿泊施設については今年春に完成の見込みとなりました。

情報化社会に対応したIT事業の推進、新たな産業の育成としての製塩事業等、自立した村づくりの実現に向けた課題にも取り組んでおります。

また、本年は、第2次小笠原村総合計画の大詰を迎える年となります。

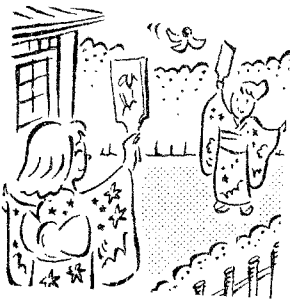
ごみ処理施設、上下水道施設、道路等の生活基盤施設の整備、改善を引き続き計画的に行うとともに、扇浦新集落の整備、平成16年度就航予定のテクノスパーライナーの受入体制の整備を進めてまいります。

更に、平成16年度以降の村政の指針となる第3次小笠原村総合計画の策定や、小笠原諸島振興開発計画の延長という課題にも着手してまいります。

予定される延長計画では、自立を目指した産業振興策の実施や、保健、福祉、医療、教育の充実等、数多くの課題の解決を図りたいと考えております。

私は、これらの課題解決のため役場組織の総力をあげ、議会とも協力して取り組んでいく所存です。

どれも一朝一夕には解決できないものではありますが、今一度気を引き締め、豊かで暮らしやすく、自立した村づくりを目指し、村民の皆様とともに鋭意取り組んでまいります。と考えておりますので、本年も皆様のなお一層のご理解、ご協力をお願いいたします。



小笠原村教育委員会

教育長 陽田 房蔵



明けましておめでとうございます。

村民の皆様におかれましては、お揃いでよき新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

21世紀出発の昨年は国の内外を問わず、今までの思考の範囲を超えた大きな事件が起こり大変な年でした。しかし、皇太子殿下内親王のお誕生、野依良治(名古屋大学)教授のノーベル賞受賞と明るいニュースもありました。小笠原村では、長年の悲願であった小笠原、母島各中学校卒業予定者で都立小笠原高等学校以外の都立高等学校へ一般受験希望者に対し、小笠原村で受験できる現地受験制度を都教委において確立していただきました。関係各位に御礼申し上げます。

今年4月、4月から学校週5日制の導入となります。教育委員会では、学校教育と家庭教育の果たすべき役割を明確にし、子どもたちにとってよりよい教育環境を提供していくべき、努力して参ります。また、小笠原村全体が学習エリアとなる、総合的な学習の時間の本格実施となります。

昨年からはじめました歴史・文化については、今年も聴き取り調査等を通じて資料収集整理に努めてまいります。関係各位の一層のご協力をお願い申し上げます。

本年も村民の皆様の一層のご理解とご協力をお願いし、年頭のご挨拶といたします。